

2016年度電子顕微鏡技術認定試験

1. 受験の資格および試験の日時と場所

試験種目	受験の資格	試験	試験の日時	場所
二級技士 受験料¥6,000 (学生¥3,000)	電子顕微鏡の基礎的技術および関連の知識を有する者(電子顕微鏡の実務経験を問わない)	筆記(2項参照)	2016年10月1日(土) 10時～12時	希望地受験 東京 慶應義塾大学 京都 京都教育文化センター 福岡 産業医科大学 ※試験場の案内は 受験証に添付します
一級技士 受験料 I ¥8,000 II ¥8,000 III ¥15,000 IV ¥20,000	電子顕微鏡の実務経験3年以上で、二級技士(一般技術)認定証を有する者	I 筆記(生物)	2016年10月1日(土) 10時～12時	
		II 筆記(鏡体・共通技術)	2016年10月1日(土) 13時～15時	
		III 試料作製実技	資料(試料, 写真など)の提出 2016年9月30日～10月18日	
		IV 鏡体実技	原則として東京(場所と電顕機種は相談する) 2016年9月23日～10月14日で選択	

2. 試験の種別と内容

試験の種別	試験の内容	
二級技士	細胞と組織の基礎知識, 生物試料作製技術, 鏡体(TEM・SEM)とその操作および観察方法, 関連装置, 写真技術などに関する基礎知識.	
一級技士 I 筆記試験 (生物)	i 必須問題	生物試料作製技術(超薄切片法, SEM 試料作製法, 細胞化学, 免疫電顕法, 凍結技法など)に関する知識および放射線障害防止, 廃棄物処理についての知識.
	ii 選択問題	電子顕微鏡の観察に必要な微生物, 動物, 植物試料の知識と試料作製技術に関する問題6問のうち4問を選択する.
II 筆記試験 (鏡体・共通技術)	i 鏡体	TEM, SEM 及び関連装置の理論と構造. 操作と保守に関する知識.
	ii 共通技術	試料の支持法, 蒸着技法, 写真・画像技術などに関する知識.
III 生物試料作製実技試験	超薄切片法	過去1年以内に固定から電子染色まで全ての過程を自分で取扱った試料とその撮影写真の提出を求め, 試料作製から写真作製までの技術を総合的に審査する. (詳細は受験証と同時に送付する説明書を参照)
IV 鏡体実技試験	透過電子顕微鏡の保守, 調整, 操作, 撮影などについて実技審査と口頭試問を行う.	
一級技士試験についての注意事項 (1) I, II, IIIは同時に受験することができます. (2) IVはI, II, IIIの試験すべてに合格したのちに受験できます. (3) I～IIIは, 同年度内にすべて合格する必要はありません. それぞれの試験は一度合格すれば将来とも有効です. (4) I～IVのすべてに合格し, 認定の登録申請をすませたときに一級技士技術認定証が交付されます.		

3. 受験の手続(手続きの詳細は学会HPにてご確認ください)

受験申込用紙に必要事項を漏れなく記入し, 写真を貼付の上, 同封物とともに申込先へお送りください.

受付期間 2016年9月1日～16日(消印有効)

申込先 〒162-0814 東京都新宿区新小川町4-21 光風ビル401 公益社団法人日本顕微鏡学会 技術認定委員会 宛

※受験申込用紙はHPよりダウンロードできます. ダウンロードができない方は, 一級技士, 二級技士を指定して返信用封筒(宛名明記, 82円切手貼付)を同封の上, 下記請求先へ請求してください.

請求期間 2016年8月1日～8月26日 当日消印まで受付

請求先 〒162-0814 東京都新宿区新小川町4-21 光風ビル401 公益社団法人日本顕微鏡学会 技術認定委員会 宛

受験申込に関する手続きの詳細はお送りする受験申込用紙に添付します.